

## \*\*\* 今日 の 健康 (6月) \*\*\*

### 鷲 口 瘡 (がこうそう)

鷲口瘡はカンジタ・アルビカンスという真菌による口腔内感染症で、従来は栄養失調児や衰弱児にみられることが多いとされてきましたが、近年はその他に異常のない新生児が、分娩時の母親の産道から感染を受けて発症することが多くみられます。

#### <原 因>

授乳時の母親の乳頭の消毒や、哺乳ビンの洗浄が不十分な時、不潔なガーゼで口を拭くなどした時、また何らかの疾患による抗生物質、ステロイド剤や免疫抑制剤の長期使用で、口腔内の正常な細菌叢の変化や生体の感染症に対する防御力の低下を起こすために発症します。



#### <症 状>

口の内側の粘膜に舌、口唇に白色のミルクのかすのように隆起する粘膜斑で、軽くこすってもはがすことができず、無理にはがそうとすると出血します。

通常痛みもなく、乳児の場合哺乳に影響はありませんが、まれに授乳障害を引き起こすことがあります。

綿棒で擦り落とすと炎症部分が露出し、発赤やわずかな出血もみられます。時として同時にカンジタによるオムツかぶれがみられることもありますので、おむつ交換の時はよく見るようにして下さい。

#### <治 療>

赤ちゃんが元気で食欲もあるなら、そのままほうっておいても自然に治ることもあります。

無理に取り除こうとすると傷つけてしまうので経過を見るだけにしましょう。

広がるようなら早めに受診しましょう。

治療には抗真菌薬をよく使います。これを1日に1~2回、スポイトで抗真菌薬のシロップを口の中にしみわたるように入れる、または綿棒で患部に塗ります。

#### <注 意>

あまり症状の強い場合は免疫の検査をすることがあります。

鷲口瘡がたくさん出ているときは三種混合ワクチン、BCG等の予防接種は控えておきましょう。